



日動労千葉

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号 (動力車会館)

電話 (鉄電) 千葉 2935・2939 番
(公) 043 (222) 7207 番

97.5.21 No. 4600

「新フレイト21」=貨物六千人体制許すな 関東支社経営計画 (4/30) 千葉機関区問題 (5/15) で団交

懇談会六月報告を前に

JR貨物関東支社は、四月三十日に97年度支社経営計画を提案した。本年六月の「JR貨物の完全民営化」にむけた基本問題懇談会への報告書作成を直前にし、また四月より貨物六千人体制を狙った「新フレイト21」が開始されるなかで、本年の支社経営計画は「新フレイト21」の初年度として、「収入の確保と業務運営の効率化」を中心としている。貨物会社は「三月ダイ改」で「新フレイト21」の先取りとして佐倉機関区の廃止をはじめとした合理化を強行したが、「基本問題懇談会」の動向をにらみつつ、本年はより一層の貨物合理化・要員削減を強めようとしている。一方で、ア千円みられる超低賃金を労働者に強制し、他方で「六千人体制」にむけた合理化の強行を許すことにはできない。JR体制打倒、格差粉砕、合理化阻止のたたかいにたちあがろう。

全業務にわたる見直し

支社経営計画では、「経費の節減・効率化の推進」の項で、新小岩車両所の移転が八月下旬に、新小岩派出などが九月中旬をメドに移転の計画であることが明

ダイ改後の問題点で交渉

五月十五日動労千葉申第二〇号「千葉機関区の労働条件について」の団交が開催され、関東支社より申し入れに対する回答が出された。この申し入れは「九七・三ダイ改」後一カ月が経過した時点で、貨物協議会でまとめたもので、DL検査と乗務員の年休取得要員に関するものとなった。

千葉機関区は、当初新小岩機関区の機能を受け継ぐことが前提となつて計画されたため、佐倉機関区の持つDL検査の機能は計画に含まれてはいなかった。ところが「九七・三ダイ改」で佐倉機関区の廃止が強行されたことにより、DLの配置区となつたため検査作業体制、とくに臨時検査の体制が不十分となった。

また乗務員は、過員がない中で多くの乗務員に新線の線見や異車種養成が発生することから、年休が抑制されている状態がつづいている。これに対し支社は、「他の区に比して、年休の取得率が低い」ことを認めつつも、現行の要員のワクのなかで今後も行なっていくことを表明するに止まつた。

らかにされた。また、「仕事の仕組み、やり方の見直し」として、ア・管理部門の見直し、イ・組織の見直し、ウ・フロント体制の見直し、エ・運転計画業務のOA化、オ・検修体制の見

直し、カ・構内作業体制の見直し、キ・客貨受委託業務の見直し、ク・総合鉄道部の導入、ケ・多能化の推進、コ・新経理システム稼働への対応、サ・ファイリングシステムの導入、な

ど業務全般にわたって見直しや多能化の推進がうちだされている。今後新小岩地区の基盤整備や次期ダイ改などをとおして、この経営計画に基づく合理化を許さない体制を構築しよう。

動労千葉申第20号
1997年4月28日

千葉機関区の労働条件について

申し入れ事項	回答及び見解
<p>「97・3ダイ改」については移行後一ヵ月を経過する中で、安全・安定輸送の確保するために、下記のとおり申し入れるので団体交渉により早急に解決されたい。</p> <p>記</p> <p>1. DL臨時検査要員を、千葉機関区新小岩派出所に配置されたい。</p> <p>2. 千葉機関区検査技術管理について、専有作業スペースを確保されたい。</p> <p>3. 年休の取れる要員を配置されたい。</p> <p>- 以上 -</p>	<p>1. 現在員の運用について検討する。</p> <p>2. 検討する。</p> <p>3. 意見及び養成期間中であり、協力を要する。</p>